



日本臨床腎臓病看護研究会  
Japanese Society for Clinical Nephrology Nursing


# JSCNN

## Vol.3

# NEWS LETTER



## TOPICS

1. JSCNN 理事会 各委員会よりお知らせ・報告
  2. JSCNN 理事長・副理事長より挨拶
  3. Saturday night セミナー
  4. NEWS LETTER 企画
- ・ ぞすこい！インタビューリレー 



### 1. JSCNN 理事会 各委員会よりお知らせ・報告

#### 1) JSCNN 学術委員会より

委員長 江上 豊

(国家公務員共済組合会 舞鶴共済病院)

NEWS LETTER ご覧頂きありがとうございます。10月に第2回となるWebセミナー『ぞすこい！秋場所』を開催しました。アンケートの結果は別冊にて公開しておりますので、そちらの方もご覧頂けたらと思います。次回は『ぞすこい！春場所』を計画しています。学術委員会で企画しております『ぞすこい！セミナー』、NEWS LETTERは、今後も継続していけるようにと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

前回、掲載した読者からの投稿エピソード『言葉の力』で、絵を提供してくれた患者のA氏がNEWS LETTERを見て、「外との交流が持てることを喜んでいた」ということを聞いております。このNEWS LETTERで喜んで居る方は、大変嬉しく思います。皆さんからも、ご感想やご意見頂けると嬉しいです。よろしくお願い致します。

# 1. JSCNN 理事会 各委員会よりお知らせ・報告

## 2) JSCNN COVID-19 対策委員会より

委員長 徳田 勝哉

(医療法人 原三信病院)

これまで多くの臨床現場での対応などのご相談を受けてまいりました。様々な課題や施設の特長があり同じ課題でも対応が若干異なることが多々あります。これまでのご相談を通して改めて認定看護師の役割を認識できたと考えております。今回は感染対策ですが、ここで大切なことは、「事象にどう対応するか？」ではなく「事象に対してどのような姿勢で臨むか？」ということが非常に重要であると実感しました。例えば、初めて耳にする疾患や症状を目の前にしたとき、どのように向き合い、どのようにチームで協力するかというのが非常に重要となります。「分からない疾患や初めて経験する事象に看護師として、どう向き合い行動するのか」というのは、看護師としてのベースがなければ対応を誤ってしまいます。そして謙虚な思考で、その施設で「可能な対応」「不可能な対応」「現在の対応より精度を高めようとする思考と行動」「基本を見直す力」「他者と協力できること」「看護師がすべきこと」「現時点の対応を客観的に評価する力」「局面を乗り越えて以前よりも良い状況に持っていく視点」そして「これらを継続し続けられる力」というのが非常に重要なことであり、「予期せぬ事象にどう対応するか？」より「予期せぬ事象へも対応できる看護師やチームであるか」というのが非常に重要であると考えます。私は、よくスタッフへ「謙虚な自立」を目指してという言葉を使います。このような看護師の育成やチームのあり方を認定看護師がリードしていく必要があると今回のパンデミックで改めて気づかされました。現在では、重傷者の割合は減少しておりますが、今後も対応を継続しなければいけません。この歴史的パンデミックを乗り越えた時、日本の透析室の感染対策は、さらに進歩し、より質の高い看護の提供とその看護を提供する腎臓病看護に従事するスタッフのボトムアップができていることを願い臨時で設立した COVID-19 対策委員会の活動をもう少し継続していきたいと考えておりますのご協力をよろしくお願いいたします。



## 1. JSCNN 理事会 各委員会よりお知らせ・報告

### 3) JSCNN 総務委員会より

委員長 福島 亮

(札幌南一条病院)

第1回日本臨床腎臓病看護研究会（JSCNN）学術集会・総会の開催が近づいてまいりました。記念すべき第1回目は、ロイトン札幌とwebのハイブリッド形式での開催で、12月14日より事前参加申し込みが開始となりました。

橋本聖子参議院議員による特別講演、ハンズオンセミナーでは、バスキュラーアクセスのエコー体験に加え、日本フットケア・足病医学会との共催で、全国各地で活躍する「足フェチ会」によるフットケアの実践体験も企画しました。その他にも、教育講演、ワークショップ、シンポジウムなど、参加皆様にとって有意義な時間となるように企画を進めてきました。プログラムや参加申し込みの詳細につきましては、ホームページ (<https://1st.jscnn.org/>) にアップされておりますのでご覧ください。新型コロナウイルスのオミクロン株の流行がどうなっていくのか見通しが立たない状況ではありますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。




## 2. JSCNN 理事長・副理事長より挨拶

### 1) 理事長より

理事長 木村 剛

(社会医療法人 医翔会 札幌白石記念病院)



### 任期を終えるにあたり

私は、2018年3月の総会にて日本透析看護認定看護師会会長を拝命し、2020年には、「一般社団法人日本臨床腎臓病看護研究会」の理事長となり合計4年が経過いたしました。このような責任ある団体の運営に関しまして、多くの至らない点やご迷惑をおかけしつつも、今日まで邁進できました。これもひとえに、会員の皆様の御理解と御支援によるものと思っております。この場をかりて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2021年12月15日現在、当会は223名の会員、10名の理事にて3つの委員会（教育委員会・COVID-19委員会・総務委員会）を運営し活動を広げております。また、関連学会との交流としては、日本透析医学会、日本腹膜透析医学会、日本HDF研究会、日本腎臓リハビリテーション医学会、日本透析アクセス医学会、日本腎不全看護学会、東京都臨床工学技士会等との合同シンポジウムの開催や座長・講師・演者の派遣などに

関して交流を深め、私たちの活動が期待されるようになってきました。これは、皆様が行う高度な看護実践とその自分の実践を真摯に受け止めつつ、学会等でアウトプットしてきた地道な活動が評価されていると分析しております。

さらに、日本看護協会にアドバイスを頂きながら2020年4月より開始したCOVID-19相談窓口対応は、現在も継続しており累計33件となりました。離島を含めた全国の透析室から相談があり、困っている透析看護師達への支援ができていないのではないかと考えております。

このように、私たちの活動は次第に社会的評価を得てきております。また、それと同時に、社会的責務は大きくなっております。これらの情勢を踏まえつつ、これからも研鑽を積み重ねていく団体でありたいと思います。

これからも、同期の絆を大切に、地域で刺激し合い、全国の仲間と共に後輩を支援しつつ、魅力ある学会へ発展していきましょう。



## 2. JSCNN 理事長・副理事長より挨拶

### 2) 副理事長より

副理事長 能美 亜紀子

(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院)



### 任期を終了して

私は、透析看護認定看護師になって2年目から計6年間、透析看護認定看護師会の副会長として、また、法人化して日本臨床腎臓病看護研究会の副理事長としての責務は、会員の皆様の支えがあって果たすことが出来たと思っております。改めまして、若輩者の私が副会長、副理事長として努めてこれたのは、一重に会員の皆様の温かいご理解とご協力があったからこそと思ひ、会員の皆様には、ここで厚く御礼を申し上げます。

法人化して、副理事長として努めてまいりました。時折、仕事との両立に悩み、力不足を痛感することもありました。しかし、この会が透析看護認定看護師の力となり、それが、透析看護の発展につながり、その先にいらっしゃる患者様が透析を受けながらでもご自身の生活や人生を送る手助けになることと信じて、活動してまいりました。透析看護は今後、患者様の高齢化や多様化、アドバンス・ケア・プランニングやシェアード・デジション・メイキングなど意思決定支援が難しくなっており、AI診療など今後も継続した学習や研鑽が必要となると考えます。今回、法人化したことで、更に学ぶことが出来る場が多くなると考えます。透析看護認定看護師の皆様は、仕事をご多忙の中でも、自身で研鑽を重ねていらっしゃいます。そのような透析看護認定看護師、腎不全看護認定看護師にとって、この研究会が研鑽の場となり、その先にいらっしゃる患者様がその人らしい人生を送る支援が出来る看護師を輩出できる会として発展していくことを祈念しております。




## 2. JSCNN 理事長・副理事長より挨拶

### 2) 副理事長より

副理事長 徳田 勝哉

(医療法人 原三信病院)




今回、全国の透析看護認定看護師会の流れを引き継ぎ、木村理事長を中心に法人化をすることができました。これは皆様のご協力があったからこそだと思います。今回の法人化で腎臓病看護に携わっている看護師の貢献度や認知度をさらに表現できる環境が整ったと考えております。「看護」というのは、なかなか表現が難しい現状がありますが、この法人化をきっかけにより看護を可視化し評価していくことが重要と考えております。そして、看護師以外の医療従事者へ伝えられる看護の実践を目指していきたいと考えております。専門職としては、学術的な成果も必須となりますので、皆様の臨床看護の支援と社会的な役割を客観的な情報で提示することが日本臨床腎臓病看護研究会の使命だと考えております。来年度は、より積極的に全国の皆様の臨床看護を集約し1つでも多く私たち腎臓病看護に携わる看護師の明確な役割を確立し、患者・家族へ還元していきたいと考えておりますので来年度もご協力とご指導をお願いいたします。



## 3. Saturday night セミナーについて

理事 銚立 優作

(公益財団法人 豊郷病院)



土曜日の夜に気軽に参加でき、学べる場を提供していきたいとの思いで始まった Saturday night セミナー。開催は不定期ではありますが今年度これまで4回のセミナー開催をしてきました。第4回は急性・重症患者看護専門看護師である木村 禎先生をお招きし、開催。

第1回～3回の参加者は約20名程でしたが、第4回は30名以上の会員の方にご参加頂きました。今回は「透析看護認定看護師が知っておかなければならない循環動態の知識」という大変興味深いテーマについてご講演頂きました。

腎不全・透析看護認定看護師として循環動態を把握、理解しておくことは非常に必要なことであると考えています。循環動態の理解は、安全、安楽な透析治療を提供するうえで必要不可欠であり、さらに様々な治療・ケアの場面においても役立つのではないかと考えています。Saturday night セミナーでの学びが認定看護師の役割である「実践・指導・相談」を行う際の、一助となれば幸いです。今後もセミナーへのご意見、要望を取り入れながら開催していきたいと考えております。今後も会員の皆様のご参加をお待ちしています。どうぞよろしく願いいたします。

<次回セミナー予告！>

演者：原三信病院 徳田勝哉さん（日本臨床腎臓病看護研究会 副理事長）

開催日時：2022年1月29日 21時～22時

テーマ：近日公開

アンケート結果はNEWS LETTER 別冊をご覧ください。

第4回 Saturday Night セミナーのご案内

日時: 2021年9月25日(土) 21時~22時

形式: ZOOM (先着100名)

参加費: 無料, 事前申し込みなし

参加方法: 協会Webサイト・会員専用ページよりログイン

同会運行: 一般社団法人 日本臨床腎臓病看護研究会 理事 録立 優作

第1部: 21:00~21:55

テーマ  
「透析看護認定看護師が知っておかなければならない循環動態の知識」

演者  
札幌市病院局 市立札幌病院 木村 禎 先生  
救命救急センター 副部長, 透析・重症患者看護専門看護師

①講演 (21:00~21:40)

②質疑応答 (21:40~21:55)

第2部: 22:00 ~

会員交流会 (WEB 飲み会) 自由参加



## 4. NEWS LETTER 企画

### 1) どすこい！インタビューリレー

インタビュー・編集 石田 真由

(兵庫県立尼崎総合医療センター)

## ☆ 第2回どすこいインタビューリレー ☆



13回生

☆ — ☆ — ☆ — ☆ — ☆  
松田 和子 です♡



広島県  
福山市在住

☆ — ☆ — ☆ — ☆ — ☆  
どんな施設で働いていますか？

日本鋼管福山病院の透析センターで勤務しています。  
日本鋼管福山製鉄所（現 JFEスチール）の保険センターとして開設された236床の総合病院です（肩の整形外科が有名）  
透析センターは、維持血液透析患者数90名、ベッド数35床で福山～岡山県の笠岡地域の方が通院されています。  
腹膜透析はやっていません。

☆ — ☆ — ☆ — ☆ — ☆  
最近楽しかったことは？

高校時代のバレエ部の恩師が突然電話をかけてきてくれました。  
「まつだか、こっちに帰って来たんやっとな、元気か？」  
うん十年ぶりに懐かしい声を聴き、感動して電話口で泣いてしまいました。

生まれ変わったらやりたい仕事

特技→宴会芸！

パンダの飼育員



松田さんのおすすめ

挑戦したいこと→ジョギング



緊急事態宣言中の過ごし方

松田さんの 大好き

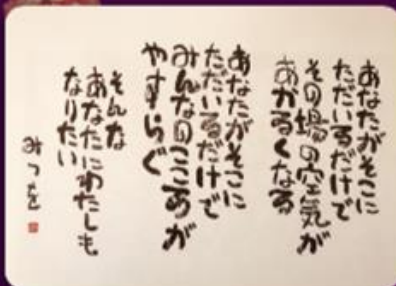
家飲み & 読書 & ウォーキング  
マスクを縫おうと  
ミシンを衝動買い  
(したものの…縫ってない)



藤山直美さん

内野聖陽さん

座右の銘



松田さん！  
パッと明るくなる  
インタビューを  
ありがとうございました！

次回もお楽しみに！



第3回は2回生の星井英里さんです♡





## 5. 感想・エピソードの募集

JCSNN NEWS LETTER では、下記のエピソードを募集しています。

どしどし応募をお待ちしております！

匿名希望やペンネームでも結構です。

- ・『どすこい！！インタビューリレー🗣️』
- ・『後輩から先輩に質問！』
- ・『先輩から後輩へ質問』
- ・『忘れられないアノ事例！』
- ・『アノ人のアノ言葉』
- ・NEWS LETTER についての感想

### 【応募方法】

下記のメールアドレスで件名を『JCSNN NEWS LETTER 係』宛てで送信お願いします。匿名やペンネーム希望の方は、その旨をお書きください。

Mail : [info@jscnn.org](mailto:info@jscnn.org)



## 6. 次号の予告

1. JSCNN 理事会 各委員会よりお知らせ・報告
2. Saturday night セミナー
3. NEWS LETTER 企画
  - ・『どすこい！！インタビューリレー🎤』
  - ・『後輩から先輩に質問！』
  - ・『先輩から後輩へ質問』
  - ・『忘れられないアノ事例！』
  - ・『アノ人のアノ言葉』
  - ・NEWS LETTER についての感想

※次号は4月を予定



一般社団法人  
日本臨床腎臓病看護研究会

事務局：マイス株式会社

〒：060-0041

住所：北海道札幌市中央区大通東7丁目18-2

TEL：011-280-8008

FAX：011-280-4000

mail：info@jscnn.org

Web：https://jscnn.org